

保護者のみなさま

小野市立小野南中学校長

## 令和5年度学校評価結果について

春寒次第に緩み、一雨ごとに春の息吹が立ち込めてまいりました。平素は本校教育にご理解、ご支援を賜りありがとうございます。

さて、本年度も本校の教育活動について評価をしていただきました。結果をご報告するとともに、次年度の実践に生かしたいと考えております。今後ともご理解ご協力の程よろしくお願いいたします。

## アンケート結果表について

○26の質問項目を「学校生活」「確かな学力」「豊かな心」「たくましい身体」「家庭学習の充実」「教育環境の整備」という6つの観点にまとめ報告します。

○評価結果の見方

A：思う B：少し思う

○令和3年度、令和5年度の比較はA・Bの合計ポイントによる比較です。

## 【学校生活】

	評価者	評価内容	R3	R5
			A・B	A・B
1	生徒	楽しく学校生活を送っている。	94%	94%
	保護者	楽しく学校生活を送っている。	93%	96%
2	生徒	体育祭やミュージックフェスティバルなどの学校行事に熱心に取り組んでいる。	95%	95%
	保護者	体育祭やミュージックフェスティバルなどの学校行事に熱心に取り組んでいる。	96%	97%
3	生徒	学校だよりやホームページで学校の様子がよく分かる。	89%	87%
	保護者	学校だよりやホームページで学校の様子がよく分かる。	89%	77%
4	生徒	友だちや先生、地域の人にあいさつができています。	98%	97%
	保護者	友だちや先生、地域の人にあいさつができています。	94%	95%
5	生徒	交通ルールを守って登下校している。	97%	99%
	保護者	交通ルールを守って登下校している。	97%	99%
6	生徒	生徒会活動（専門部活動）に意欲的に取り組んでいる。	90%	93%
	保護者	生徒会活動（専門部活動）に意欲的に取り組んでいる。	90%	96%

多くの生徒が、楽しく学校生活を送れていると答えており、学校行事にも熱心に取り組んでいます。行事や縦割り活動を通してクラスや学年の絆が深まっています。

一方、ホームページ等を活用した学校からの発信を一層期待する声がありました。生徒の学校生活がわかるようタイムリーな情報提供に努めます。

## 【確かな学力】

	評価者	評価内容	R3	R5
			A・B	A・B
7	生徒	授業は分かりやすい。	94%	95%
	保護者	分かりやすい授業がなされている。	90%	95%
8	生徒	自分は授業に集中して取り組んでいる。	92%	92%
	保護者	お子さんは、授業に集中して取り組んでいる。	89%	90%
9	生徒	教育機器（ICT）や班学習が活用されて、授業は楽しい。	95%	89%
	保護者	教育機器（ICT）や班学習が活用されて、楽しい授業がなされている。	92%	92%
10	生徒	よく練習してから「おの検定」に取り組んでいる。	72%	79%
	保護者	よく練習してから「おの検定」に取り組んでいる。	75%	74%

本校では、プロジェクターを活用し視覚から記憶に残る授業を行うなど、生徒全員が参加できる授業づくりに取り組んでいます。さらに、グループ学習により生徒同士の学び合い活動を重視しながら、生徒主体のわかりやすい授業を実践しています。

また、アンケートの結果より、おの検定に対する取組のポイントが上昇しています。授業や家庭学習の中で、検定に向けての学習を継続的に行った結果だと思われます。再チャレンジテストも定期的に行い、基礎学習の定着を目指しています。

## 【豊かな心】

	評価者	評価内容	R3	R5
			A・B	A・B
11	生徒	道徳科の授業では、自分の思いや考えを発言している。	75%	80%
	保護者	豊かな心を育む道徳教育がなされている。	92%	91%
12	生徒	相手の立場や気持ちを考え、いじめをなくすように意識している。	98%	98%
	保護者	相手の立場や気持ちを考え、いじめをなくすように意識している。	94%	99%
13	生徒	相手を大切に思いやりの心が育ってきたと思う。	96%	97%
	保護者	相手を大切に思いやりの心が育っている。	97%	98%
14	生徒	人権旬間や人権フィナーレの取組は人権について考える機会になっている。	97%	95%
	保護者	人権旬間や人権フィナーレの取組は人権について考える機会になっている。	95%	94%



「道徳科授業で、自分の思いや考えを発言している」と回答した生徒が上昇しました。今後も道徳資料等を通して、自分の考えを発言するとともに、友達の見聞きながら考えを深める授業を実践していきます。

道徳科の授業を中心とした教育活動全般を通して、生徒の思いやりの心を育て、温かな人間関係の構築に努めてまいります。

## 【たくましい身体】

	評価者	評価内容	R3	R5
			A・B	A・B
15	生徒	部活動に熱心に取り組んでいる。	96%	93%
	保護者	部活動に熱心に取り組んでいる。	97%	97%
16	生徒	部活動の活動内容や活動時間は適当である。	89%	90%
	保護者	お子さんの部活動の活動内容や活動時間は適当である。	89%	92%
17	生徒	朝ごはんを毎日食べている。	93%	94%
	保護者	朝ごはんを毎日食べている。	96%	95%



多くの生徒が部活動に熱心に取り組み、目標を持って毎日練習に励んでいます。部活動についてはガイドラインに基づき、活動内容を充実させ効率的に活動できるよう工夫しながら行っています。

今後も、生徒の意欲と集団づくりを大切にしながら、心技体の育成に努めていきます。

## 【家庭学習の充実】

	評価者	評価内容	R3	R5
			A・B	A・B
18	生徒	SNS やインターネットなど、約束事を決め適切に使用している。	80%	80%
	保護者	SNS やインターネットなど、約束事を決め適切に使用している。	66%	63%
19	生徒	寝る時間や起きる時間を決め、睡眠時間を確保している。	76%	80%
	保護者	寝る時間や起きる時間を決め、睡眠時間を確保している。	74%	80%
20	生徒	毎日時間をきめて家庭学習に取り組んでいる。	66%	64%
	保護者	毎日時間をきめて家庭学習に取り組んでいる。	59%	62%
21	生徒	学校の課題以外に苦手科目の復習等、自主的な学習をしている。	64%	70%
	保護者	学校の課題以外に苦手科目の復習等、自主的な学習をしている。	51%	55%
22	生徒	学習の手引きを活用して学習に取り組んでいる。	43%	57%
	保護者	学習の手引きを活用して学習に取り組んでいる。	54%	55%

項目18～22については低い数値を示しています。学校では、時間の有効活用について生徒の自律（自らの規範によって行動すること）を促す機会を増やしていきたいと考えています。学校での指導やアドバイスとともに、家庭との協力体制が不可欠だと考えます。今後も、お子様のSNS等の使用状況について把握していただき、中学生にとって適切な使用方法について再考をお願いします。睡眠時間の確保についても、学力や体づくりにおいて大切なことだと考えています。

一方、学校の課題以外に復習や自主的な学習をしている生徒、学習の手引きを活用して取り組んでいる生徒の割合が上昇しましたが、引き続き、主体的に取り組む生徒が増えていくように、一緒に学習内容を確認するなど学校でも支援していきます。

## 【教育環境の整備】

	評価者	評価内容	R3	R5
			A・B	A・B
23	生徒	校内の清掃に熱心に取り組んでいる。	97%	95%
	保護者	環境整備や清掃は行き届いている。	95%	98%
24	生徒	先生は相談によく乗ってくれる。	92%	93%
	保護者	先生は生徒の相談によく乗ってくれる。	91%	85%
25	生徒	夢や希望・目標をもって、それに向かって努力している。	82%	81%
	保護者	家庭で夢・希望・目標に向かって頑張ることの大切さについて話し合っている。	94%	82%
26	生徒	小学生(6年生)とのふれあい行事は、大切だと思いますか。	91%	89%
	保護者	小野南中学校区の小中一貫教育は、9カ年のカリキュラムを見通した教育となっている。	82%	84%



生徒は、毎日の清掃活動にまじめに取り組んでいます。より良い環境で学校生活が送れるよう、奉仕の心、感謝の心を育てていきます。

相談体制については、定期的に生活アンケートや教育相談を実施し、日頃より気軽に相談できる体制づくりに取り組んでいます。今後も生徒一人ひとりにとって、居心地のよい安心して学べる環境となるよう努力していきます。

令和5年度も保護者・地域の皆さまのご支援ご協力により、学校教育活動を推進することができ、感謝申し上げます。本アンケート結果を分析しますと、生徒の思いや保護者・地域の皆さまから指摘された課題があるものの、評価は概ね良好であったと認識しております。今後も、「現状維持では後退するばかりである。」という言葉に肝に銘じ、日々新たな改善を心がけたいと思います。

「家庭学習の充実」「スマホ使用」「読書」「睡眠」。本年度中、生徒に投げかけ、各家庭に啓発させていただきました。ご存じのとおり、小野市では「脳科学理論に基づく16か年教育」に取り組んでいます。音読や読書、読み書き計算により、前頭前野を活性化させ、思考力や記憶力、集中力を高める効果が期待されるというものです。

脳科学の専門家が学力調査や学力テスト結果を分析したところ、次のことが推奨されました。「スマホで調べる方が速いが、前頭前野は働かず記憶に残らない。辞書や書籍が望ましい。」「1日のスマホ使用時間は1時間以内が脳の発達にとって望ましい。」「読書習慣がある人は脳が発達する。」「十分な睡眠は脳を活発に働かせる。」

子どもたちの心身の発達のため、今後も家庭と連携して取り組みたいと思いますので、ご理解ご協力の程よろしくお願いいたします。

小野市立小野南中学校長 西村 政朗